

ジョセフ・アルバースの授業色と素材の実験室



JOSEPH

Pedagogical
Experiments

ALBERS

2023年7月29日[土]—11月5日[日] July 29 – November 5, 2023

開館時間：9:30–17:00（入館は16:30まで） | 休館日：月曜（ただし9月18日、10月9日は開館）、9月19日[火]、10月10日[火]

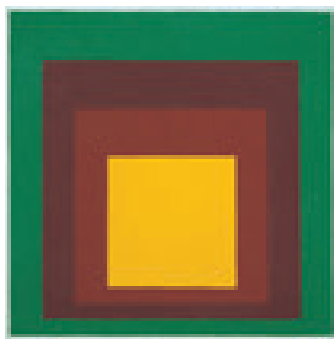
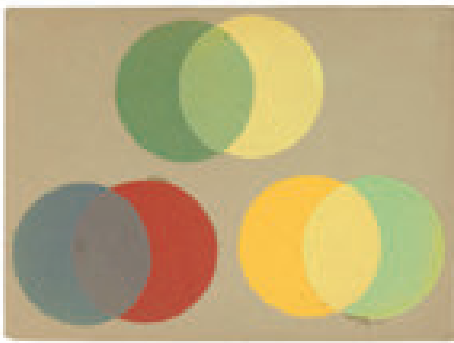
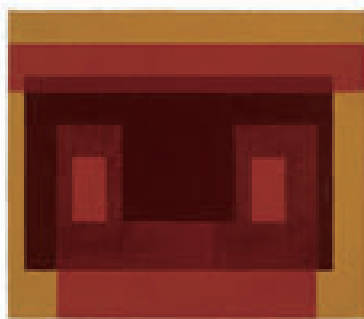
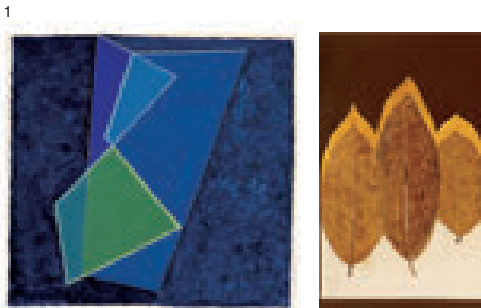
入館料：一般1,800円、学生・65歳以上1,600円、高校生以下無料 障害者手帳をお持ちの方と付き添い1名まで無料

主催：DIC株式会社 | 特別協力：ジョセフ&アニ・アルバース財団、東京国立近代美術館 | 協力：エヒメ紙工株式会社、

グリン・エヒメ株式会社、株式会社竹尾、DICデコール株式会社 | 後援：千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会

DIC
Color & Comfort

DIC川村記念美術館
Kawamura Memorial DIC Museum of Art



1. スタッキング・テーブル 1927年頃 | 2. 作者不詳[バウハウスの学生]紙による素材演習 制作年不詳(2023年再制作)ミサワホーム株式会社
 3. 《プリズムのようなII》1936年 | 4. リーフ・スタディI 1940年頃 | 5. 《3つの茶色+黄土色》1948-57年
 6. 作者不詳[ブラックマウンテン・カレッジの学生]マチエール(黄色い四角が塗られた石と紙)1940年代頃
 7. 作者不詳[イエール大学の学生]色彩演習 1958-60年頃 Courtesy of the Josef and Anni Albers Foundation
 8. 《正方形讃歌》1952-54年 DIC川村記念美術館
 [表面] イェール大学で色彩の授業を行うアルバーズと学生 1952年 撮影者不詳 Courtesy of the Josef and Anni Albers Foundation
 ● 作者について記載のないものはジョセフ・アルバーズの作品 ● 所蔵者について記載のないものはジョセフ&アニ・アルバーズ財団の所蔵
 ©The Josef and Anni Albers Foundation / JASPAR, Tokyo, 2023 G3217 (2, 6, 7を除く) | Photo: Tim Nighswander/Imaging4 Art (pl. 1, 3, 4, 5)

ジョセフ・アルバーズ(1888-1976)は画家、デザイナー、そして美術教師として知られています。ドイツで生まれた彼は、造形学校バウハウスで学び、のちに教師となって基礎教育を担当しました。同校の閉鎖に伴い渡米し、ブラックマウンテン・カレッジや、イエール大学に勤務。戦後アメリカの重要な芸術家たちを育てました。

アルバーズは授業の目的を、「目を開くこと」と述べています。彼はただ知識を教えるのではなく、学生に課題を与え、手を動かして考えることを促しました。そうして答えを探究することで、色彩や素材のもつ可能性を自ら発見させようとしたのです。そしてアルバーズ自身もまた、生涯にわたり探究を続けました。そこから生み出されたのが、バウハウス時代のガラス作品から、家具や食器などのデザイン、絵画シリーズ《正方形讃歌》に至る、驚くほど多様な作品群です。

本展ではアルバーズの作品を、彼の授業をとらえた写真・映像や、学生による作品とともにご紹介します。制作者/教師という両側面からアルバーズに迫る、日本初の回顧展です。

会場内に、アルバーズの出した課題に挑戦できるワークショップ・スペースを設けます。学生を夢中にさせた彼の授業を、ぜひ体験してみてください。

会期中のイベント ● 詳細は決定次第ウェブサイトでお知らせします

講演会 | 要予約(定員35名)

①7月29日[土] 13:30-15:30

ブレンダ・ダニロウィッツ(ジョセフ&アニ・アルバーズ財団チーフ・キュレーター)

②9月23日[土] 13:30-15:00

沢山遼(美術批評家)

学芸員によるギャラリートーク | 当日受付

8月12日[土]、9月17日[日]、10月20日[金] 各日11:30-12:30

ワークショップ: インタラクション・オブ・カラー ― 色の相互作用を体験する

要予約(定員30名)

永原康史(グラフィックデザイナー、ジョセフ・アルバーズ『配色の設計』監訳者)

8月19日[土] 13:30-15:30

ラーニング: アルバーズの授業に挑戦! | 当日受付(定員15名)

亀山裕亮(本展担当学芸員)

8月10日[木]、26日[土]、9月9日[土]、16日[土]、29日[金]、

10月9日[月祝]、21日[土]、28日[土] 各日11:30-12:15

コンサート: サウンドミュージアム・オブ・テルミン | 要予約

ザ・ボーニャー = 街角マチコ(テルミン)、街角マチコ(ギター&ボーカル)

10月14日[土] 閉館後予定

交通案内

[自動車] 東関東自動車道「佐倉IC」より、国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)、無料駐車場160台

[東京駅から高速バス] 八重洲北口から徒歩5分、京成バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」に乗車(約60分)

[行き] 東京駅9:55発 → 美術館11:02着

[帰り] 美術館15:29発 → 東京駅16:42着

料金: 大人片道1,360円 | 問い合わせ先: ちばグリーンバス 043-481-0808 運行時間などに変更が生じる可能性があります。

最新情報は「ちばグリーンバス」へお問い合わせください。

[東京駅からJR] JR総武快速線の成田空港行きで「佐倉駅」下車(約60分)、南口美術館バス停より無料送迎バス(約20分)

[上野駅から京成電鉄] 京成本線特急または快特の成田方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、南口「シロタカメラ」前より無料送迎バス(約30分)

送迎バス時刻表

京成佐倉駅 → 美術館

8:50	9:10	9:50	10:20	(10:50)
11:20	(11:50)	12:20	(12:50)	13:20
(13:50)	14:20	(14:50)	15:20	15:50

JR 佐倉駅 → 美術館

9:00	9:20	10:00	10:30	(11:00)
11:30	(12:00)	12:30	(13:00)	13:30
(14:00)	14:30	(15:00)	15:30	16:00

美術館 → JR 佐倉駅 → 京成佐倉駅

10:50	(11:20)	11:50	12:45 歴	(13:20)
13:50 佐	(14:20)	14:50	15:20	15:50
(16:20)	16:45	17:15		

()内は土・日・祝日のみ運行 | 歴: 国立歴史民俗博物館経由 | 佐: 佐倉市立美術館経由 ※左記の館が休館の場合は経由しません



■印=案内板

DIC川村記念美術館

千葉県佐倉市坂戸 631
050-5541-8600 (ハローダイヤル)



ご来館前に当館ウェブサイトにて最新情報をご確認ください。やむを得ず記載内容が変更になる場合があります。
https://kawamura-museum.dic.co.jp

